

平成29年度行政評価 事務事業評価シート(平成28年度実績)

事務事業コード	030503040	予算コード	01083193	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	不妊治療支援事業			正規職員数	0.08	国庫支出金	0	有効性	経済動向や働き方等により少子化が進む現状の中、子どもを育みたいとの夫婦の思いは、社会を上げて支援する必要がある。その人たちが子どもの授かりにくい原因があるならば、支援する必要性があり経済的支援も行政の役割の1つと考える。	
担当課	健康推進課			嘱託職員数	0	府支出金	0	B		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0	効率性		C
	■要綱・要領			歳出(千円)		その他	0	妥当性		
	泉佐野市不妊治療支援事業実施要綱			人件費総額	684	一般財源	5,164	受益者負担		D
						減価償却費	0			
						事業費	4,480			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	5,164	緊急性				
実施手法	未入力			市民1人当たりコスト(円)	51		D			
対象				活動指標	H28実績	公的関与	A			
特定の市民	対象数			不妊・不育助成申請数	108.0	実施主体・委託化	B			
妊娠を希望する治療中の市民						他の事務事業との関連	該当なし			
事業の内容						透明性	C			
不妊治療に要した費用を申請のうえ審査助成する。その費用は、不妊・不育に係る検査、治療、薬剤のそれぞれ費用を対象とし個々の領収書と治療実施機関の証明書・領収書と突合して審査を行う。審査結果通知のうえ、指定された口座への助成金振込手続きを実施する。				成果指標	H28実績	財政健全化計画	該当なし			
				妊娠者数	39.0	財政健全化の取組	該当なし			
				出産者数	35.0					
事業の目的				コスト指標	H28実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
不妊治療は、その経済的負担が重いことから十分な治療を受けることが出来ず、子どもを持つことを諦めざるを得ない人も少なくない。大阪府の助成を受けることのできない市民に対して、その経済的負担の軽減を図ることを目的とする。				申請者1人当たりのコスト	47,814.0					